

たというイメージを与え、風評被害が起こる可能性がある。これに対してはどのような感覚か。

A: プロジェクトがテレビなど紹介され、連絡する人がまだいる。町だけの判断で断っているかと思われないように、定員が一杯になったと案内するようNPO法人にお願いした。本当に困っている人には福島県に対応をはたらきかけたい。福島県がどう動くかであり、湯沢町がどうこうすべきことではない。

Q: NPO法人が募金をしたが、今後も湯沢町に住みたいという方に対して、プロジェクトを継続する資金がNPO法人にあるのかを聞きたい。

A: 募金額がホームページ上で示されているが、しばらく更新されていない。湯沢町は7月25日に終わるが、NPO法人が長野県の方にもこの事業を引き受けてくれないか打診しているという話がある。

長野県庁からも連絡があった。そっちの方にも声をかけている。

Q: NPO法人と町の関係はどのようなものか。プロジェクトを行うことを町は了解したのか。町はどこまで責任を持つのか、その関係を教えていただきたい。

A: 当初は4月25日までという話だった。湯沢町は宿泊施設を提供することでエンゼルさんが了解した。NPO側は医者、看護師など医療的な部分を担当した。当初は医師も多かったが、5月からは常駐ではなくなった。今は数が少なくなっていて、一週間に3人位の医者がローテーションで診ている。湯沢町保健医療センターも不足した部分は診ているが、受入れ人数が増えてきすぎてしまっていて健康福祉課が困っている状況だ。

Q: 基本的には東電と国と責任があり、最後は東電と国に持って行く構えで

いるべきである。

② フリースタイルワールドカップ

フリースタイルスキーワールドカップについて、湯沢町で開催出来ないか打診があった。まず国際スキー連盟のカレンダー委員会が6月上旬にスロベニアで行われ、苗場のフリースタイルの大会日程が入り、正式に国際スキー連盟が認められた。その後、湯沢町にお願いしてきた。湯沢町も正式に受入れた。本来大会を受ける場合は、初めに地元市町村および開催県のスキー連盟の了解を得ないといけない。しかし、時間がなく、話が前後してしまった。期日は来年2月18日、19日となる。種目はフリースタイルで、2種目行われる。大会は苗場スキー場で3年間行う。

主な質疑

Q: スポンサーの話がだが、町に対する要望は適切なのか。

A: 主催・協賛という湯沢町の名前も入るので、多少なりとも援助願いたいということだ。今の段階だと最大で500万円ということだ。

③ 東日本大震災被災地視察

6月28日、29日に東日本大震災の被災地視察を行う。視察に行くにあたっては、政務調査費を使うなるべく安価な方法で行う。今後自分たちで何ができるか、現状をふまえた中で自らの町に災害が起きた時の対応を考えたい。実情を目のあたりにして、することも大事なことである。

皆さんの意見を聞いた上で行きたいと思う。28日、29日とした場合視察に行ける人の拳手をもとめます。28日、29日に決定します。出席者は9名です。係る経費は出席者で割って徴収する。これは、政務調査費を使って実施することとしたいと思っています。

④ 議会活動の広報

議員がどのように考えているのか広報していく中で、ネット配信・FMラジオ放送などの実施に向け、議会運営委員会が取り組むようお願いしたい。リアルタイムでネット配信することはサーバーに負担もかかり、経費もかかるらしい。録画してサーバーに入れ、それを配信すればどの時間でも見られる。神奈川県相模原市と長岡市でもそのような方法でやっているとのことである。

主な質疑

Q: リアルタイムであれば録画したものであれ、どうこういう理由で今までにこれがされなかったのか

A: まず、エフエム雪国の放送では、三俣・二居・浅貝の地区に電波が届かない。電波塔を建てると相当の金がかかるので機会均等の観点から、やらないということになった。しかし、受信でき